

連合長野 [8月]



2019.8.30
No.422

発行/日本労働組合総連合会
長野県連合会
発行人/根橋 美津人



〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349
E-mail info@nagano.jtuc-rengo.jp http://www.rengo-nagano.jp/
フェイスブック https://www.facebook.com/rengonagano/

2019連合東海ブロック 政策研究集会を開催!

連合東海ブロック(長野・愛知・岐阜・三重・静岡の各地方連合会)は、7月29日(月)～30日(火)の2日間、愛知県豊田市において「2019連合東海ブロック政策研究集会」を開催した。東海ブロック各県より、政策担当者、役員、推薦議員など約130名が参加、連合長野からも三役、政策委員、地協役員、推薦県議会議員・市町村議員の総勢23名が「大規模な自然災害に備える～必要な対策と広域連携の構築～」をテーマに意見交換を行い、議論を深めた。



大震災を風化させない、教訓を活かす
大規模な自然災害への備えについて考えよう!

始めに、連合東海ブロックを代表して連合愛知佐々木会長より「自然災害が多発している今、震災に対する備え、地域の防災・減災への取り組みは、各県の重要課題となっている。安心して暮らせる地域づくりに向け、働く者・生活者の立場でしっかりと意見反映していくことが重要である」との挨拶に続き、名古屋大学減災連携研究センター長 福和 伸夫教授から、「南海トラフ地震への備え」と題し、基調講演をいただいた。南海トラフ地震が起きる可能性や規模・想定被害状況からの備えについて、企業の多くは対応が不十分、中小企業は特に遅れており、その基本である自社設備対策が未実施であると指摘したうえで、「地域における企業間連携を含め集团的地震対策が重要」「被害を最小限にするために、社会的インフラとして道路、河川・堤防、工業用水の整備が重要」「情報の共有と伝達、自助・共助・公助、防災・減災への日常的意識の向上、他団体との連携とあわせて自組織の体制整備の重要性」など、アドバイスをいただいた。

パネルディスカッションでは、福和教授をコーディネーターに、NPO法人レスキューストックヤード 栗田代表理事、愛知県防災安全局 内田防災部長、(株) デンソー豊橋製作所・豊橋東

製作所 古海所長、連合宮城 大黒事務局長、連合愛知 佐々木会長の5人がパネリストとなり、今回のテーマについて、震災を風化させない、企業の枠を超えた地域での連携、各企業労使間の取り組みの重要性、労働組合と地域とのつながりに関する議論を深めた。

2日目は5分散会に分かれ、初日で提起された課題について、労働組合・県市町村議員それぞれの立場から、取り組み事例の紹介、発災時や復旧・復興支援に向けた備え等について議論した。地域の防災訓練の在り方、災害時の支援ニーズの把握、地域コミュニティ、企業の防災マニュアル、情報伝達の共有、行政・NPO・支援団体との日常的な連携について幅広い考えが出され、それぞれの持ち場・立場での取り組みを進めていくことが確認された。

連合長野は、9月から10月にかけて、政策委員会による県政要請への要求と提言の取りまとめ、部局折衝や県政への要請行動を実施する。いつ起きるかわからない自然災害への備えや地域における防災・減災の取り組みは急務である。今回の集会内容も踏まえつつ、県内のすべての労働者・生活者の安心・安全に向け、様々な政策への意見反映を行っていく。

第2回女性リーダー 育成講座開催 —男女平等参画推進委員会—



8月24日(土)、長野市ホテルメルパルク長野において、次代を担う女性リーダーの育成と女性役員のエンパワーメントを図ることを目的に「女性リーダー育成講座」を開催し、構成組織より30名の女性役員・組合員、男性オブザーバーが参加した。今年度は、以前より参加者から要望の多かった女性役員のネットワークづくりのため、6月の第1回目に引き続き、今回第2回目を開催した。

第1部は、連合本部の芳野友子副会長から、「Unions for Women Women for Unions!～女性のための労働組合 労働組合のための女性～」と題し、労働組合の女性参画について、ご講演いただいた。芳野副会長からは、20代・30代、40代など、ご自身が就職した時の職場での経験や、労働組合役員としての経験をもとに、女性の活躍を阻む要因として、トップリーダーの指導性発揮、女性自身の意識、女性リーダーへの男女双方の抵抗感、女性役員の育成機会の少なさ、労働組合の男性役員の意識の壁などの課題点・問題点をあげられた。「男女がともにあらゆる機会に参画できるよう、組織風土を変えるためにも、量的変化が質的变化に転じる境目といわれる女性参画の割合を3割にする「クリティカル・マス」の重要性や、女性自身が声を出すこと・声を出し続けること、女性役員のネットワークづくりについてアドバイスいただいた。



芳野副会長

第2部の分散交流会では、5つのグループに別れて「労働組合活動の女性参画を進めるために」をテーマに意見交換を行い、第3部の情報交換会&昼食会にて、発表を行った。各グループからは、「男性へ理解を深める取り組みが必要」「労働組合の活動を組合へしっかり広め、女性役員

の活動の見える化をする」「自分たちの課題だということ」を認識し、経験や学習を積み、女性自身の力をつける」などの考えが発表された。情報交換会・昼食会は、立食形式で行い、大勢の参加者との交流できたことに加え、自己紹介では、参加者全員より、執行委員歴や組合役員になったきっかけ、現在悩んでいること、講座へ参加した感想など、自由に話してもらい、全体交流を深めることができた。

参加者からは、「講演を直接聞くことができ、労働組合のあり方、女性執行委員の役割を改めて考える機会となった」「連絡先を交換し合うなど、今後のつながりが持てて良かった」との声が寄せられた。

連合長野では、第4次男女平等参画推進計画(取り組み期間2020年9月まで)を策定し、男女ともに安心して働くことができる職場環境の実現に取り組んでおり、女性参画を進めるうへでは、男性役員の意識改革の重要性から男性リーダー講座の開催を希望する声も年々大きくなっている。連合長野は、引き続き、構成組織・地域協議会一体で労働組合における女性参画の取り組みを展開していく。



分散会の様子



交流集会の様子

カーライフを応援する、頼れる補償
全労済のマイカー共済
自動車総合補償共済

どんな補償が必要なのかしら? 事故にあった! どうしよう! 車のトラブル・メンテナンスは?

あんしんをまとめたら、こんなプランになりました!

おすすめ安心タイプ

あなたをがっちり守る!
人身傷害補償
補償額 最高5,000万円 任意で増額可能

対人賠償 補償額 無制限
対物賠償 補償額 無制限

夏車の損害も幅広くがっちりカバー!
任意で増額可能
一般補償 (自己負担金 10万円)

お車の事故により発生するさまざまな費用を補償
付随経費用補償

安心が広がる! 特約・割引

あんしんの事故対応サービス

- 休日・夜間を問わず、24時間365日事故受付・現場急行サービスも24時間365日
- 事故初期対応は土日・祝日(8:00~21:00)もサポート ※18:00までに連絡いただいた場合は対応可能です。
- 事故交渉サービス付き(対人・対物賠償事故に限ります)
- マイカー共済事故相談ダイヤル

あんしんのサポート体制

- マイカー共済ロードサービス 目的地にて実施可能な30分以内の路上ピックアップサービス 無料依頼時ガソリン等必要サービス
- 24時間コールサービス (通年年中)
- 車検・修理・点検は全国ネットの全労済指定整備工場です!

自賠責共済とあわせてのご加入をおすすめします。 ●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。



「第2回地域協議会議長・事務局長会議」を開催！

～原動力である各地域協議会の活性化に向けて～



8月28日(水)～29日(金)、長野市労働会館・富士通労働組合総合センターにて、第2回議長・事務局長会議を開催し、2019年度の地協活動を振り返り、課題や悩みを共有するとともに、地域活動の活性化に向け、次年度運動方針策定に向けた議論、意見交換を行った。

冒頭、中山会長より開会挨拶として、県内情勢および連合長野運動全体の課題に触れ、連合長野運動の原動力である地域協議会の活動の活性化に向けた課題提起を行った。

次に、2019年度地協活動の振り返りにあたり、根橋事務局長より、地方連合会・地域協議会の組織と活動に関するアンケート調査結果を踏まえた連合総研研究報告書から、地域協議会における12の機能(政策提言、政治活動、組織拡大、中小労組支援、交渉、NPO等他団体との連携など)や役割について、課題提起がされた。

その後の分散会では、議長・事務局長がそれぞれグループに別れ、これまでの地協活動を振り返り、すべての地協が行うべき活動として提言されている「行政への政策提言」や「選挙活動」「街頭行動」「メーデーの取り組み」など課題点や悩みについて意見交換を行った。議長・事務局長からは、「一人ひとりの主体的な参加を高めるためにどうしたら良いか」「役員・組合員から共感を生む地協活動の創造」「地域における政策実現や組織拡大には、地域コミュニティとの関わりをもつことが必要」「地



域から信頼を得る活動とするためにはどうしたらよいか」「役員との単任期での交代、地協活動の継承や活性化に向けてどうしたら

よいか」などの声があがった。

続いて、基調講演として、連合本部松永茂樹組織局長を講師に迎え、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」、連合運動強化特別委員会報告など、連合本部の2020—2021年度連合運動方針(案)など、連合運動全体をテーマにご講演をいただいた。

2日目は、連合長野2020—2021年度運動方針(案)の策定に向けた議論を行った。まずはじめに、根橋事務局長より、組織拡大、労働政策・労働条件、男女平等参画、連合運動基盤強化の4つを運動の力点とし、社会連帯活動、政治活動、地協運動、人材育成・労働教育の4つを運動の推進軸とした次年度運動方針の骨格が説明された後、地協運動を強化・活性化に向けた意見交換を行った。参加者からは「地域に顔の見える地協運動」「発信力」「地域・産業政策」「男女平等参画の取り組み」「労金・全労済などの自主福祉運動」「地区労福協との連携の在り方」など、運動方針全体におよび幅広く意見や要望が出された。

県内労働者のクラシソコアゲには、組合員一人ひとりの身近な拠り所となっている各地域協議会の活性化が重要である。引き続き、地協役員との定期的な対話を通じて、連合長野・地域協議会が一体となった取り組みを展開していく。



将来のこと、自分のこと、しっかり考える“わたし”になりたい!

— わたしの積立 —

[シュシュ]

ろきん chou-chou

ここから始まる新しい“わたし”
ろきん chou-chou futur
[シュシュ フトール]

35歳から
ろきん chou-chou
[シュシュ]
こども積立

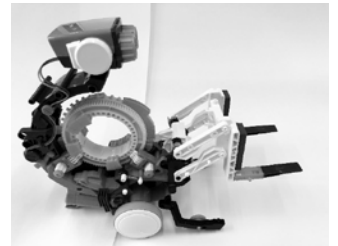
今もこれからも輝く女性に
ろきん chou-chou plus
[シュシュ プリュス]

わたしの積立 ろきん chou-chou を
ご契約いただいた方全員に
オリジナル通報ケース
お好きな1つをプレゼント!

ロボットでプログラムを学ぶ ～ 19組42人の親子がものづくりに挑戦～

—金属部門連絡会—

7月27日土曜日、金属部門連絡会(相澤健弘部会長：連合長野副会長・電機連合)は、13回目になる「親子ものづくり教室」を岡谷市諏訪湖ハイツで開催、19組42人の親子が参加し、実際にプログラムを組んで自在に動かすフォークリフト型のロボットを制作する「ものづくり」に挑戦した。



プログラミングホイールにビットをつけて制御

■ PCを使わずにプログラミング ■ ホイールにビットを付けて制御する



親子一緒に真剣にものづくりに挑戦

今回製作するロボットはパソコンを使わずにプログラミングする「アンプラグドプログラミング」ロボット。プログラミングホイールに「ビット」を取り付けることで、ロボットの動きを自在にプログラミングできる。パソコンで行うプログラミングと同じように、目的の動作をさせるためにはどのビットを組み

み合わせるかを考えることで、自らがロボットをコントロールするための論理的思考を身につけることに挑戦した。「前進」「後退」「停止」「右折」「左折」「ターン」の基本ビットのほかに、ビットを組み合わせることで「リフトアップ」「リフトダウン」など、いろいろな動きをさせることができ、付属のパーツに付け替えることで、「絵描き」「シュート」「キャッチ」「サッカー」など多彩なロボットに変えることができ、ロボットに組み立てることへの好奇心を養った。

■ 小さな部品に悪戦苦闘、 ■ 作って動かす楽しさ実感

今回は小さな部品が多く、組立工程も長いので、慣れない作業に四苦八苦する親子もいたが、スタッフの適切なアドバイスにより、昼食をはさみ、予定した時間内にすべての親子が作業を終えて、きちんと動作

確認をすることができた。

自分で考えて様々なプログラムを組んで複雑な動作をさせる参加者もいるなど、実際にプログラムを組み、動かすことで、「ものづくり」の面白さを楽しむ姿も見られたり、「難しかったけど、他のロボットも作ってプログラムしたい」との声が寄せられた。また、組合員からは「親子で一緒に作業することで楽しめた」「動き出したときの子ども笑顔を見ることができうれしかった」などの感想が寄せられ、親子での共同作業をする貴重な機会となった。

この「親子ものづくり教室」は、工作を通じて、親世代から子世代へ「ものづくり」の大切さ、重要さ、楽しさを伝えようと毎年開催している。連合長野は、引き続き、金属部門連絡会を中心として、長野県の基幹産業であるものづくりの大切さを次世代へ伝える取り組みを行っていく。



自ら製作し動かしたロボットは貴重

住まいの相談なら住宅生協へ

労福協・労金・全労済などの福祉事業団体は、勤労者の暮らしに対する不安を解消するためにワンストップ・サービスの実現を進めています。
住宅生協も、その方針に基づき、
《住まいのワンストップ・サービス》を確立し運動いたします。安心な住まいはまず相談から。

長野県労働者住宅生活協同組合

本部

長野県知事(10)2490号

026-234-0283

F380-0838 長野市瀬町523 ろうきんビル7F jyusei@avis.ne.jp

松本事務所
〒390-0841 松本市港1丁目2-1
TEL. 0263-88-5061

ホームページもご覧ください

長野県住宅生協

http://www.jyusei.jp/

住宅生協は、労金・全労済と同じく
非営利の福祉事業団体です。

